

第18回秋季セミナー

オールジャパンのものづくり

-連携による産業基盤の活性化-

第18回目秋季セミナーは、11月17日（木）、18日（金）の両日、キャンパスプラザ京都にて開催いたします。

このセミナーは産官学の若手の方、中堅の方、そしてベテランの方々に最新情報の収集ならびに意見交換の場となることを目的として開催するもので、その時々注目されている話題を集めてプログラムを組んでおります。

今回は、「オールジャパンのものづくり～連携による産業基盤の活性化～」をメインテーマとし、繊維産業のさらなる活性化のために、「ファッションと感性」、「異種技術の融合」、「連携による新たな市場創成」などの観点から、関係分野の第一人者による講演会を企画致しました。また、「素材・繊維機械の技術革新」、「マーケットニーズをとらえた機能素材の活用」、「産業資材・環境資材の新展開」、「染色仕上加工の新潮流」の講演を会場別に開催します。

さらに、産官学の連携をより積極的に進めるために、大学研究室、公的試験研究機関、企業のポスターセッションも実施します。多数の方々のご参加をお待ちしています。

【期日】平成23年11月17日（木）、18日（金）

【会場】キャンパスプラザ京都（京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939）

JR 京都駅下車、徒歩3分、<http://www.consortium.or.jp/>

【第1日目 11月17日（木）：4階第2講義室】

13:00	開会の辞
13:05	挨拶
	特別講演会
13:15-14:15	特別講演（1） 「たかが服、されど服 - ファッションへの視線」 元大阪大学総長，哲学者 鷲田 清一
14:30-15:30	特別講演（2） 「今，日本の繊維産業が置かれている立場とこれから」 日本毛織（株）東京支社長 長澤 則夫 ・東京は政治・経済の機能が集中し，そこで日本羊毛紡績協会の一員として，繊維関連の委員会や検討会に参加して情報や発信に携わっています．現在，経済産業省と業界団体がどんなことに取り組んでいるのかを中心にお話し，また企業の立場ではメイドインジャパンをどのように盛り上げようとしているのかについて紹介します．
15:45-16:45	特別講演（3） 「日本アパレルの生き残りの道」 (株) フランドル 代表取締役会長 栗田 英俊 ・インターナショナルブランド（S. P. A）と競合状況に突入した現状を踏まえて，市場の分細化，縮小も加速しています．これからの生き残りを掛け，日本の持っている（技），美意識（繊細さ、ていねいさ、安全さ）を結集し，バリュー（価値観）ファッションを構築することこそ，唯一，インターナショナル（欧米，中国，韓国等）と競える可能性があるのではないのでしょうか．
17:00-17:45	ポスターセッション（ポスター展示ならびに交流）4階第4講義室
18:00-20:00	交流会

【第2日目：11月18日（金）午前の部】

	A会場（4階第2講義室）	B会場（5階第1講義室）
	セッションテーマ 「素材・繊維機械の技術革新」	セッションテーマ 「マーケットニーズをとらえた機能素材の活用」
10:00-10:50	<p>「連続生産を目指した電子線グラフト重合法による繊維機能化技術」</p> <p>倉敷紡績（株）技術研究所 杉山 稔</p> <p>・電子線グラフト重合技術による天然繊維の改質技術を活用し、天然繊維に機能性を持たせ、半永久的にその機能を保持できる素材の連続生産を実用化することができた。電子線グラフト重合技術および本技術を用いて、加工した機能素材として展開している EBROQ ブランド®の機能素材について紹介します。</p>	<p>「繊維素材を用いた人間科学的ものづくり」</p> <p>（株）ワコール 人間科学研究所研究開発課 山田 隆登</p> <p>・（株）ワコール人間科学研究所は1964年の設立から毎年約1,000人の女性の人体計測を行い、これまでに延べ40,000人以上のデータを収集してきました。これらの実測データから発見した知識を元にお客様のニーズに応えるものづくりを行っています。</p> <p>研究所の歴史や研究活動を紹介させて頂いたあと、弊社における人間科学的なものづくりについて「クロスウォーカー」「CW-X」といった具体的な商品開発事例を通して説明します。</p>
10:55-11:45	<p>「クッション材用多層構造織物」</p> <p>永平寺サイジング（株）代表取締役 河合 国昭</p> <p>・多層構造体織物のベッドパッドは、軽量、織物独自のトンネル構造による通気性、さらには高弾力クッション性による寝返りしやすさ等の睡眠快適性を実現しています。15年前に原糸メーカーが開発した織物構造を元に、弊社が産学官で開発した独自の伸縮性素材と糸の断面形状等を加えて、どの方向から力が作用してもクッション性にばらつきが少ない構造体を実現しています。</p>	<p>「シューズの高機能化のための機能素材の活用」</p> <p>（株）アシックス スポーツ工学研究所 機能研究部 フットウェア機能開発チーム 磯部 真志</p> <p>・シューズの要求機能は、使用環境、目的によって異なり、これらを満足するためにはシューズの構造、材料の選択が重要となる。特にアッパーは、主に繊維材から構成され、通気性、フィット性など複数の機能が必要となる。そこで、シューズに必要な機能と、これらに対応した機能素材の適用事例について紹介します。</p>
11:50-12:40	<p>「ボルテックス精紡機の最新機」</p> <p>村田機械（株）繊維機械事業部 技術部 横田 至</p> <p>・村田機械（株）は、7万錘を超える出荷実績と紡績実績のなかで、次に求められる Vortex 精紡機としてあるべき姿を追求してきました。新開発のフリクションフィードシステムは、紡績そのものを安定化させるだけでなく紡績状態の監視も容易にし、今まで以上に高品質の糸を安定して生産することを可能にしました。</p>	<p>「夏用素材の展開」</p> <p>ミズノ（株）商品開発本部 技術開発部 高島 嘉守</p> <p>・夏場のスポーツを快適にするために、様々なアプローチで開発した涼感素材「アイスタッチ」、通気コントロール素材「ダイナミックエアリー」、そして新開発の遮熱素材「ソーラーカット」に関して、コンセプト、着眼点、機能性、そして従来素材との違いについて説明します。</p>
12:40 - 13:40	昼休み	昼休み

【第2日目：11月18日（金）午後の部】

	A会場（4階第2講義室）	B会場（5階第1講義室）
	セッションテーマ 「産業資材・環境資材の新展開」	セッションテーマ 「染色仕上加工の新潮流」
13:40 - 14:30	<p>「河川、海洋における汚濁対策への展開」 前田工織（株）開発技術部 福嶋 旬志</p> <p>・河川、海洋において、汚濁水が流出した場合、汚濁防止フェンスによって拡散を防止します。また、流れ出た油に対しては、オイルフェンス及び吸着材を使用して回収を行います。これら製品の現場状況に合わせた形状や組み合わせについてその特徴を紹介します。</p>	<p>「フッ素系撥水撥油剤の新化 - PFOA問題とアサヒガードEシリーズ -」 旭硝子（株）技術開発センター 機能商品グループ 杉山 和典</p> <p>・フッ素系撥水撥油剤は、各種衣料を中心に幅広く使用されている機能加工剤である。しかし、従来型のフッ素系撥水撥油剤は、環境に対し影響を及ぼす可能性があると考えられているPFOAが、極微量含まれていることが判っている。</p> <p>当社はこれまでに、この問題を解決した新規フッ素系撥水撥油剤を開発しており、従来型からの置き換えが進んでいる。講演においては、これらの最新状況について説明します。</p>
14:35 - 15:25	<p>「三軸織物複合材とその用途」 サカセ・アドテック（株）専務取締役 酒井 良次</p> <p>・等方性を有する三軸織物複合材の特徴とその用途例を紹介します。</p>	<p>「節電ビズ（クールビズ・ウォームビズ）対応特殊機能加工（剤）」 大原パラヂウム化学（株）技術開発部 脇 浩一 開発推進室 室長 齋藤 公一</p> <p>・クールビズ、ウォームビズ対応の特殊繊維加工（剤）の中でクールビズとしては、キシリトール、エリスリトールの溶解吸熱反応を利用した耐久性冷感加工等、ウォームビズとしては、吸湿発熱加工等と微多孔膜の孔径をコントロールし、通気性を持たせたコーティングによる防風加工を紹介します。</p>
15:30 - 16:20	<p>「繊維ロープ製車両用防護柵の開発」 福井県雪対策・建設技術研究所環境・建設グループ 三田村 文寛</p> <p>・繊維の特徴を活かして、利用者の安全性を高め、維持管理費用の削減を目的に繊維ロープ製車両用防護柵の研究・開発を行った。実車による衝突試験では、B種路側用車両用防護柵の性能を満足することができました。</p>	<p>「PFOAについて - フッ素系撥水撥油剤の動向」 ダイキン工業（株）化学研究開発センター撥剤グループ 原 良輔</p> <p>・2000年以来、アメリカEPA（Environmental Protection Agency、環境保護局）で問題視されているPFOAについて、その背景から我々の削減取り組み、市場動向、製品動向について講演させていただきます。</p>

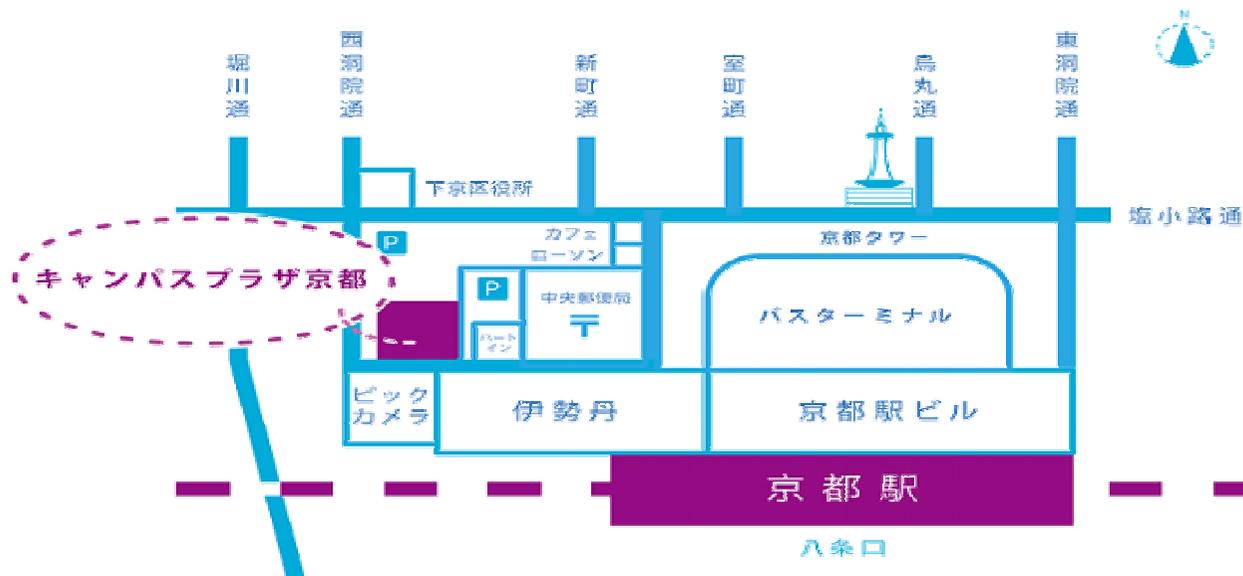
【協 賛】石川県繊維協会, 大阪染色協会, カケンテストセンター, 神奈川県繊維協会, 京都府織物・機械金属振興センター, 高分子学会, 繊維製品技術研究会, 繊維評価技術協議会, 富山県繊維協会, 日本麻紡績協会, 日本衣料管理協会, 日本化学繊維協会, 日本家政学会, 日本感性工学会, 日本材料学会, 日本産業皮膚衛生協会, 日本繊維機械協会, 日本繊維技術士センター, 日本繊維製品品質技術センター, 日本染色検査協会, 福井県繊維協会, プラスチック成形加工学会

【参加費】会員 22,000 円 (協賛団体会員を含む), 非会員 30,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円, 特定会員 (65 歳以上の正会員) 10,000 円

【申 込】「第 18 回秋季セミナー」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別, ⑤交流会参加の有無を記入の上, FAX または E-mail にてお申し込み下さい。
学会 HP (<http://homepage2.nifty.com/tmsj/japan/>) の秋季セミナー頁より参加申込ができます。

【申込先】日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: i-love-tmsj@nifty.com

【会場地図】キャンパスプラザ京都 (京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939)
JR 京都駅下車, 徒歩 3 分, <http://www.consortium.or.jp/>



(社) 日本繊維機械学会 行

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4

E-mail : i-love-tmsj@nifty.com

平成 23 年 11 月 17 日 (木), 18 日 (金) 開催

「第 18 回秋季セミナー」参加申込書

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____ FAX : _____

E-mail : _____

交流会 : _____ 参加 ・ _____ 不参加

会員種別 : _____

連絡事項 :

今後, 本学会からの開催行事案内メール配信を

_____ 希望する ・ _____ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____